

平成30年度

「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した  
障害者スポーツの実施環境の整備事業）」

成果報告書

平成31年4月  
(川崎市)

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、川崎市が実施した平成30年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

# 事業実績

## 1 実施内容

### (1) 取組内容

取組の名称	障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）
目的	<p>本市においては、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けては、パラリンピックに重点を置いた「かわさきパラムーブメント」を掲げており、障害者スポーツの推進に取り組んでいるところである。</p> <p>障害者スポーツの普及促進にあたり、当事者が生活圏内において活動出来る環境づくりは必要不可欠である。その点においてスポーツを手段として人づくり・まちづくり・未来づくりを総合的に行なう最適な場として総合型地域スポーツクラブがある。</p> <p>障害者の継続的なスポーツの実施促進に向けて、各地区の課題に対応した障害者スポーツの推進体制の強化、身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等を図ることを目的とする。</p>
取組内容及び実施形態	<p>①実行委員会の開催</p> <p>②地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業の実施</p>
成果と課題及び事業の評価	<p><b>1 実行委員会</b></p> <p>平成30年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」委託契約に基づき、学識者、有識者、スポーツ協会、特別支援学校、スポーツ推進委員連絡協議会、障害者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導者協議会、社会福祉協議会、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の代表者及び行政関係部署により構成する実行委員会を3回（7月、10月、2月）開催した。</p> <p>その中で、障害理解啓発プログラムの作製及びその水平展開、障害者スポーツ等を支える人材の育成、また、障害者スポーツイベントの実施等を、より効果的かつ効率的に行うため、その方針や手法の検討及び決定を行った。</p> <p><b>2 地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業</b></p> <p>実施環境の整備について、再委託先である特定非営利活動法人総合型スポーツクラブSELFを中心に、市民の障害理解を促進し、意識啓発により「障害のあるなしに関わらず誰もがスポーツを楽しめる環境」を創出することで、障害者が継続的にスポーツに親しめる機会の増進を図った。</p> <p>(1) 障害理解啓発コンテンツの水平展開</p> <p>ア スポーツを通じた障害理解啓発プログラム</p> <p>小学生を対象とした障害理解啓発のための絵本を市内小学校における授業や放課後活動への導入を目指して、教員向けマニュアルの作成を目的とした小学校でのモデル授業を実施した。また、当該絵本及び教員向けマニュアルを市内小学校113校へ展開した。</p> <p><b>【授業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本データのスライド投影による読み聞かせ</li> <li>・障害の疑似体験による5人1組でのワークショップ</li> <li>・振り返り</li> </ul> <p>(実施回数：1回、3年生約50名)</p>

イ オープンエアメーカー養成講習会（障害理解サポーター）

障害のあるなしに関わらず誰もがスポーツを実施できる環境を創出することを支援する障害理解サポーターを「オープンエアメーカー」と称し、サポーターを広めるための養成講習会プログラムを開催した。

（実施回数：4回、受講者：高津区民生委員、川崎市スポーツ推進委員、スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブ役員及び指導者等 約360名）

(2) 総合型地域スポーツクラブの活動プログラム等を活用した人材育成

・川崎市の総合型地域スポーツクラブの共同体である川崎市総合型スポーツクラブネットワークに「地域等と連携した障害者スポーツイベント等の実施」を委託することで、総合型地域スポーツクラブの登録者数や活動内容に大きな差があり、単体のクラブで同事業の受託が難しい総合型地域スポーツクラブも同イベントの実施手法やノウハウについて、業務を通じて習得することができた。

(3) 地域等と連携した障害者スポーツイベント等の実施

・地域や団体と連携してイベントを2回実施し、障害者がスポーツをする機会を創出した。また、イベントの参加は障害の有無を問わず、誰もがスポーツを通じて楽しみながら障害理解を高めることのできるイベントとした。

①秋の遊び場 in たかつ たかつスマイルスポーツフェスティバル

開催日：11月24日（土） 参加者：約260名

②たかつde笑顔「ファミリースポーツ縁日2018」

開催日：12月1日（土） 参加者：約2,000名

## 実施日程表(実績)

実施時期	計画事項				備考
	(1)実行委員会	(2)講習会	(3)スポーツを通じた啓発プログラム	(4)啓発イベント	
4月					
5月					
6月			水平展開 の調整		
7月	第1回		↓		
8月		①			
9月					
10月	第2回				
11月					①
12月				モデル授業実施	②
1月		②		絵本修正開始	
2月	第3回	③		↓	
3月		④		↓コンテンツ作製	

## 障害者スポーツ推進プロジェクト実行委員会名簿

所属	役職	氏名
<b>【学識者】</b>		
田園調布学園大学	准教授	かのう ひでとし 和 秀俊
<b>【関係団体】</b>		
高津区スポーツ推進委員会	委員長	こん きよふみ 今 清文
市立特別支援学校	校長	よしだ やすし 吉田 宴
川崎市障害者スポーツ協会（公益財団法人川崎市身体障害者協会）	事務局長	よこしま まさし 横島 正志
公益財団法人川崎市スポーツ協会	事務局長	たんの のりかず 丹野 典和
高津区社会福祉協議会	課長	まるやま あつ 丸山 厚
川崎市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	会長	きくち ただし 菊地 正
川崎市障がい者スポーツ指導者協議会	会長	いしかわ けいち 石川 敬一
特定非営利活動法人チャレンジドサポート プロジェクト	理事長	きたむら すずむ 北村 奨
<b>【川崎市庁内連携部署】</b>		
川崎市市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室	担当課長	いのうえ つよし 井上 強
川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課	課長	すながわ やすひろ 砂川 康弘
川崎市教育委員会事務局総務部（教育改革推進担当）	担当課長	そえの まさみ 添野 雅美
川崎市教育委員会事務局総務部（教育改革推進担当）	指導主事	あんざい ようこ 安斎 陽子
川崎市教育委員会事務局学校教育部健康教育課	担当課長	つじ としあき 辻 敏明
川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課	担当課長	いなば たけし 稲葉 武
<b>【事務局】</b>		
川崎市市民文化局市民スポーツ室	室長	てらさわ まさえ 寺澤 昌恵
川崎市市民文化局市民スポーツ室〔企画調整担当〕	担当課長	やまね たかゆき 山根 隆之
川崎市市民文化局市民スポーツ室〔企画調整担当〕	担当係長	みねもと ともかず 峯元 朋和
川崎市市民文化局市民スポーツ室〔企画調整担当〕	事務職員	わたべ かずき 渡部 和希
<b>【議事説明等】 委託先：特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF</b>		
特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF		とぬま ともたか 戸沼 智貴
特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF		ふじさこ あきこ 藤迫 明子
特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF		あんどう ゆき 安藤 裕規